

JAUW 茨城支部だより 2021年度-1号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2021年7月1日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部 発行

梅雨真ただ中ですが、紫陽花が心をほっこりさせてくれます。皆さまの心を和ませてくれるのは？

コロナワクチン接種も始まりましたが、市町村によって大分格差がありますね。オリンピックも開催予定で選手団も海外から到着のニュースが流れていますが。不安が付きまといます。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の流行は収まっていますが、何とか船出ができました。去る5月8日(土)令和3年度(2021)総会を皆様のご協力により無事開催することができました。お礼申し上げます。総会後に、新型コロナウイルス感染症の拡大により2回も中止となってしまった常磐大学・常磐短期大学学長 富田敬子氏の講演を、三度目の正直で行うことができホッとしました。皆さんが聞きたかった「持続可能な開発目標(SDGs)誕生の舞台裏」の講演は、SDGsについて深めることができとても好評でした。昨年度は、コロナの影響により支部活動が積極的にできませんでしたが、今年度は2021年度事業計画に掲げた活動を、実践していきたいと思えます。中でも「水戸市男女平等参画基本条例施行20周年記念」男女平等参画推進月間市民企画講座には手を挙げプロジェクトを組んで取り組みたいと考えています。ただ、コロナが終息していませんので状況を見ながらの活動になると思います。水戸市環境フェア(6月開催)に応募しましたが、コロナ禍のため中止となり残念でした。

今年度も皆様と共に支部活動を進めて参りたいと存じます。ご指導ご協力をお願い申し上げます。

(安藤記)



SDGs誕生の舞台裏

目次

- SDGsとは？
- SDGsは一日にしてならず
 - 国連の開発戦略の混迷
 - SDGsをめぐる主導権争い
 - 加盟国と事務局の拮抗
- SDGsをめぐる日本の国連外交



「持続可能な開発目標(SDG's)誕生の舞台裏」を拝聴して

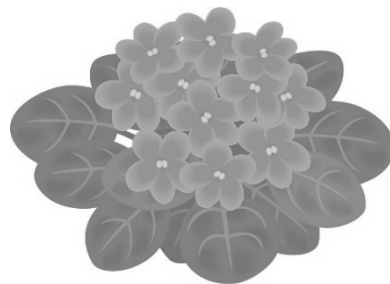
3つの点で感銘を受けました。1点目は、公私とも重責を務められた富田先生の貴重なご講演を伺う機会だったという点です。30年間国連を舞台に数々の要職を歴任され、現在も常磐大学・常磐短期大学の学長をお勤めになられています。国連国際人口移動統計専門家Gのメンバー等、内外の公職を務められている方のご講演を直接伺えた点です。始めは緊張しましたが、関係資料も用意して下さり、私どもが知らなかった国連・SDG'sの全体像を掴む事ができ、感謝の思いで一杯です。

2点目は、ご講演が、複雑な国家利益の衝突を繰り返す国連の舞台裏の内容だったからです。その困難さは、そこに身を置かれた方でないと、分からない貴重なお話ばかりでした。東西対立など世界平和に向けて国際機関としての国連の限界、また日本外交の課題についてもご指摘下さいました。

3点目は、ご講演のSDG'sの取り組みが、目標達成の2030年に向けて、実際に様々な分野に行動変容をもたらしているという現実を身近なところで体験した点です。4月9日、公明党水戸市議会として「生理の貧困」解消の手立てについて水戸市長に直接要望致しておりました。数日後の4月30日、市長から、市内のボランティア団体の皆様の協力を頂きながらですが「生理の貧困」に対応するための「みとちゃん・ミモザ・プロジェクト」を発足させ、5月下旬から無料配布をスタートさせるようにすると公式発表がありました。この模様は、大きな話題となり、NHKニュースでも放映。市内から未開封の生理用品の寄付を市役所で募集し、無料配布していく仕組みを立ち上げる事となりました。

要望活動において今回のように短時日に市長が即応したという事は、SDG'sのコア目標である「誰一人取り残さない社会の実現」という思想が浸透していればこそだと、強く実感した瞬間でした。ご講演を伺い、改めて富田先生はじめ関係団体など皆様のお蔭で、SDG'sによる行動変容が社会全体を変えつつある事に深い感慨を覚えます。富田先生のこれまでの世界に行動変容を導いて下さったご活躍に改めて感謝を申し上げ、今後の先生のご健勝をお祈り申し上げます。

(鈴木 のり子)



「持続可能な開発目標(SDG's)誕生の舞台裏」を拝聴して

今年度の大学女性協会茨城支部総会の特別行事として、富田敬子氏によるご講話「SDGs 誕生の舞台裏」が開催されました。実は本企画は、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで2度ほど開催が延期され、やっと開催を実現できたという経緯があります。そのため、首を長くして開催を待ち望んでいましたが、待っていた甲斐あり、ご講話はとても興味深い内容に溢れ、多くの学びを与えてくれました。

まずたいへん興味深かったのは、国連の位置付けおよび意思決定方式についてです。これまでSDGsのような世界共通の課題におけるその解決目標や計画などを決定する方法が、実は一国一票の投票制とされてはいるものの、ほとんどの場合投票はせずに合議的に決まるということです。そしてその合議の際には、恒常的なグループが存在するため、多くの場合そのグループの勢力に影響される、ということでした。例えばEU、G77+China（発展途上の国々と中国）などの恒常的グループがあり、その一方で日本はといえば、そういったグループを持っていないそうです。

また今回のSDGsの合意に関しては、トロイカシステムという画期的な合意方法が採用され、関心の類似する国々が30のグループを構成して意見を調整したということでした。ここでも富田氏のお話から、世界各国の交渉する姿に興味をそそられ、そして世界という舞台に対して今後とるべき日本の姿について深く考えさせられました。

これまで私は、茨城県や県内市町村の男女共同参画に関する計画に携わってきましたが、その中でSDGsについて触れる機会がとても多くありました。また、SDGsに関する書籍も数冊持っており、何度も目を通してきました。今回、本講話を拝聴したことにより、それらの計画および書籍は、私にとってさらに魅力を増すものとなりました。

(中島 美那子)



【支部長会報告】

- 5月23日（日）、オンラインによる支部長会が開催されました。支部長、理事、監事を含め参加者34名。自己紹介は、事前に指示された「支部名・氏名・趣味（20字）30秒」でしました。8支部が支部長交代となりました。本部から委員会の紹介と今年度の計画等説明、支部担当理事からのお知らせ、質疑応答という形で進められました。山下支部担当理事の歯切れのよい進行で充実したものとなりました。2022年度の定時会員総会は岡山県で行われる予定という報告がありました。
- 企画委員会からの案内
 - 1) 2021年度JA UW全国セミナーについて
メインテーマ：「教育・ジェンダー・共生～コロナ後の共生社会を支える教育～」
日 程：2021年11月14日（日）10時より16時半まで
開催方式：対面とオンラインの併用
会 場：エッサム神田ホール1号館401大会議室（JR山手線神田駅すぐ）
 - 2) 「コロナ禍における現況調査」第2回に向け・・・9月末を目途に行う予定
アンケート作成・集計・分析についてご協力いただける方
企画委員会委員長 城倉純子
(jokura2016@kg8.so-net.ne.jp) まで連絡をお願いいたします。
- 国内奨学委員会・社会福祉委員会から
今年度の奨学生募集は、6月募集要項を含む書類一式を支部に郵送、224大学に応募依頼、HPに掲載し募集を開始、8月締め切り、11月に奨学生を決定。茨城支部は筑波大学、筑波技術大学、茨城大学、常磐大学に応募書類を郵送しました。
- HPについて JA UWのHPは2014年3月より、タブコムさんにシステム作成を依頼。

【調査・研究報告書（2019）について】

- JA UW調査・研究委員会「外国にルーツのある住民と多文化共生の取組についての調査～保護者と子どもの教育問題をめぐって～」に協力くださった自治体、水戸市、つくば市、常総市、ひたちなか市、東海村には報告書を差し上げました。<https://www.jauw.org>に掲載されています。



◎ 編集後記

「安全安心」にと菅総理は繰り返していますが、質問には答えず「やぎさん答弁」とSNSで揶揄されているようです。開会式前に2回のワクチンの接種が済む高齢者は茨城県内でどのくらいいるのでしょうか。私は1回目が6月29日になります。私の知り合いで最も遅いかたは高齢者（74歳）にもかかわらず、8月6日にやっと1回目です。対策が遅れているのはワクチン接種だけではないだろうと思うのですが…

（夢見る昔少女）